

◇ 図書館催し物予定(2/15~3/15) ◇

幼…幼児向けの会 小…小学生向けの会

中央図書館	第一図書館	第二図書館	第三図書館	第四図書館	iプラザ図書館
稲城市向陽台4-6-18 TEL: 042-378-7111 FAX: 042-378-7162	稲城市東長沼2111 TEL: 042-377-2123 FAX: 042-378-9612	稲城市矢野口1780 TEL: 042-377-1866 FAX: 042-377-1866	稲城市平尾1-20-5 TEL: 042-331-1439 FAX: 042-331-1439	稲城市東長沼271 TEL: 042-378-2401 FAX: 042-378-2401	稲城市若葉台2-5-2 TEL: 042-331-1731 FAX: 042-331-1716
開館時間/9:00-20:00	開館時間/10:00-17:00				開館時間 9:00-20:00
えほんのじかん 毎週水曜日 15:00~15:30 おひざにだっこのおはなし会 毎週金曜日 11:00~11:30 おはなしの会 毎週土曜日 (第3土曜日はアニメーション) 15:00~15:30 展示予定(〜2/27迄) ・特集コーナー「チョコレート、バレンタイン、恋」 ・インナーコリドー「冬の健康対策」 ・児童室「あたたかくなる本」	子ども向け調べもの講座 2/26 日 10:00~12:00 えいが会「だいじょうぶだいじょうぶ」 3/5 日 14:15~ 工作会 3/6 日 14:00~15:30	おひざにだっこのおはなし会 第1・2・3金曜日 10:30~11:00 児童室 おはなし会 2/17 日 15:00~15:30 講座室	おひざにだっこのおはなし会 毎週水曜日 乳児/10:15~ 幼児/10:50~ おはなし会 2/19 日 11:00~11:30 第三文化センター 和室	おひざにだっこのおはなし会 第1金曜日 10:30~11:00 えほんのじかん 毎週火曜日 15:30~16:00	おひざにだっこのおはなし会 毎週水曜日 11:00~11:30 えほんのじかん 毎週水曜日 15:00~15:30 しかけ絵本をつくろう 3/6 日 14:00~16:00 対象:小学3年生以上の親子 定員:10組20名(先着順) 場所:iプラザ2F 中会議室
<p>雑誌リサイクル会 不要になった雑誌を市民の皆さんに差し上げます</p> <p>〔第四図書館〕 3月5日(土) 10:00~ 〔第二図書館〕 3月12日(土) 10:00~ ※ なくなり次第終了します</p>					
<p>●2月、3月の休館日●</p> <p>中央図書館 : 毎月第4月曜日 2月 28 3月 28 第一~第四図書館 : 毎週月曜日・祝日 2月 7・11・14・21・28 3月 7・14・21・28 iプラザ図書館 : 毎月第2・4月曜日 2月 14・28 3月 14・28</p>					

いなぎ図書館だより

第56号

平成23年2月15日
稲城市立図書館



ひばり

<http://www.library.inagi.tokyo.jp/>

昨年の11月24日から12月5日にかけて、詩人まど・みちおさんの世界を紹介する「まど・みちおの世界」を開催しました。展示会、および講演会には多くの方々にご来場いただきありがとうございました。今号では、企画・運営に携わった実行委員会のメンバーに、「まど・みちおの世界」を振り返った感想を寄せてもらいました。

「まど・みちおの世界」とはどんな世界？

実行委員長 稲田 善樹

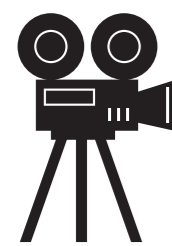
図書館と市民が協同して立ち上げた「まど・みちおの世界」実行委員会は、実行委員会メンバー自身が最初に、まどさんの世界を学び取り組んできました。幼児から高齢者までの応募作品120点に、駒沢女子短期大学保育科の出品と稲城第七小学校三年生2クラス全員の出品に注目しました。

七小の取り組みについて、暮れの押し迫った終業式の日に訪問し、三年担任教諭、学校図書館担当者から聞き取りをしました。

- 三年生は国語の時間でまどさんの「きりん」を学んでいる最中に「まど・みちおの世界展」の公募案内が届き、取り組むタイミングがよかったこと。
- 学校図書館を活かした授業を司書担当者(補助教員)と担任教師、第二図書館で共同して取り組んだこと。
- 5時限をたっぷり使い多彩に取り組んだこと。(イラスト、発表会、授業参観)
- 取り組みによって子ども達の関心はたかまった。
- 全作品が体験学習館にて公開されたことは、子ども達のこころに残った授業になった。
- 稲城市では詩集「いなぎの子」が教師たちの根気強い取り組みによって、今日迄引き継がれてきた誇れる歴史がある。詩集「いなぎの子」を活かしたい。
- 詩は伝達する力を養い、心をつたえることばを磨くのに優れている。実践的な詩作と表現することの面白さを伝えていきたい。

以上貴重な話を聞くことができました。
学校と連携したユニークな企画を次回もできたらと夢見ています。

中面へ続く ▶



中央図書館3月えいが会

3/5 日
上映

だいじょうぶだいじょうぶ

原作: いとう ひろし

日 時: 3月5日(土) 14:00 開場 会 場: 城山体験学習館 視聴覚室
上映時間: 14:15 ~ (30分) 対 象: 児童および保護者 先着50名

※ 映画会は、毎月第1土曜日に開催。次回、4月2日は一般向けを予定しています。

編集後記

今月号は、「まど・みちお展」報告記事や図書館催し予定を振りかえると、子ども向けの行事やイベントが盛りだくさんです。図書館や本に子どもたちが興味をもって集まってくれる姿はとてもほほえましく、稲城市立図書館の雰囲気活気に満ちあふれます。

また、子どもたちを支える幅広い層の方々のご意見もいただくことができ、今後にぜひ役立てていきたいと思ひます。

「まど・みちおの世界」実行委員のひとこと

稲田会長の熱気に引きずられるまま参加していった企画で、どうなるか予想不能でした。最終的に展示の参加者数は適切。公演も盛況。我々実行委員会の力以上にまど・みちおさんのことばの魅力に惹きつけられた人が多かったのではと思います。子ども達の作品はいいですね。まどさんのことばに素晴らしく反応してくれました。最後にまどさんに限らず、テーマ(作家)を決めて市民から公募する形の展示・公演の面白さを強く感じました。

大作 俊子

まど・みちおの宇宙へつながる詩に触れ、心の底に閉じ込め眠っていた世界を開かせてもらいました。いつまでも、幼い頃の感性を忘れずにいたいものです。また、多くの子どもさん達の参加に感動し、これからも持続してほしいと思いました。きっと何が大事かを心に深く刻まれたことでしょう。

亀田 まさこ

NHKの「ふしぎがり～まど・みちお100歳の詩～」がきっかけとなりこのような形でイベントが実施できたこと、まどさんの詩をたくさんの方と共に楽しめたこと、この二つが大きいうれしかったことです。

川延 千代子

当番で、お客様を見ていて感じたこと。特に子ども達の感受性の豊かさが可愛かった。よく知った歌なので展示作品に親しみを感じたのか、一緒に来た保護者よりも熱心に見ていて、「早く…もういくよ」とせき立てられる姿に、どうして待って上げられないのかと、悲しく思ったりしました。

佐藤 日出子

この企画に参加して、「まどさん」の詩の世界の奥行きを深さを知りました。子どもの心も大人の心も揺さぶる言葉の数々に圧倒されました。その上で、ほのぼのとした優しい気持ちになりました。多分折にふれ詩集を開くことになりそうです。

清水 容子

まどさんとの企画を通して、人と人との繋がりや果てしなく広がる可能性から、生きる喜びを改めて実感しました。

白井 妙子

101歳をむかえて毎日詩を書き、そして稲城の地で同じ空気を吸っている感動が、子どもから大人まで中央図書館を中心に宇宙となってひろがりました。まど・みちおさんにもみんなの思いが通じているでしょう。

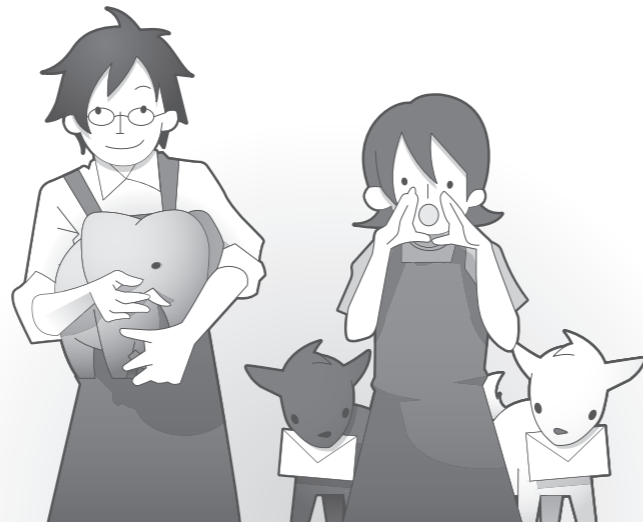
なかの よしこ

「まど・みちお」さんの詩を通じて、絵画、書、工芸、造形、合唱、朗読、ヴァイオリン、手遊びなど様々な分野で、3歳から70歳代までの100名を超える方々が表現する場となった。多くの皆さんのつながりができたことがうれしい。

浜住 治郎

猛暑の7月、まどさんの膨大な詩を読むことから始まった実行委員会。12月5日は合唱・朗読・講演と盛り沢山に思えたが、観客全員がまどさんの宇宙に包まれ不思議な感動を覚えました。実行委員になれたこと、感謝です。

山下 多喜子

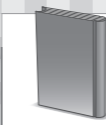


巡回

展示会

「日本の文学賞」特集

稲城市立図書館では、現在「日本の文学賞」を特集した巡回展示会を開催しています。展示会にちなみ、おすすめの文学賞受賞作品を紹介します。



今月のおすすめは…

『草のつるぎ』野呂邦暢

『草のつるぎ・一滴の夏 野呂邦暢作品集』講談社/2002 ほか収録 ※第70回(1973年下半年)芥川龍之介賞受賞

昭和48年下半年に芥川賞を受賞した野呂邦暢は、その才能を惜しまれつつ若くして急逝した作家として心に残る。

受賞作「草のつるぎ」は、著者自身の自衛隊入隊までの日々の心模様や、入隊後の訓練を、実体験ながら気負わず淡々と綴っていて、それが却って青年期特有の心理や、訓練の臨場感が顕著に伝わる作品となっている。

「草のつるぎ」というタイトルが示すように草木・水・大地の乾燥・人間の渇きなどの情景描写・心理描写に文章の巧みさが伺える。

晩婚・離婚・早逝など、著者の人生から醸し出される雰囲気には透明感があり、惹かれるところとされる。他にも「落城記」・「諫早菖蒲日記」など瑞々しい女性の目を通して語られる作品もオススメしたい。

巡回展示会スケジュール

イプラザ図書館 2/1 ㊟～ 2/25 ㊟

中央図書館 3/1 ㊟～ 3/31 ㊟

※展示資料の貸出も行っていきます。

工作会

ふしぎなコマ
を作ろう

日時 3月6日(日) 14:00～15:30

会場 城山体験学習館 視聴覚室

対象 小学生
はさみを使用するため、小学2年生以下は保護者同伴。3年生以上は子どもだけで参加可。

募集人数 20名(先着順)

持ち物 はさみ・筆記用具・ものさし・
黒色のマジック又は黒の色鉛筆

申込方法 2月15日(火)から
中央図書館カウンター、電話で受付。
氏名・電話番号をお知らせ下さい。

問合せ 中央図書館 ☎042-378-7111

図書館利用講座
～視聴覚資料の探し方～

図書館で所蔵している視聴覚資料
(CD・DVD・ビデオ)の検索方法などを
ご案内する講座です。

日時 3月19日(土) 13:00～14:30

会場 中央図書館

対象 高校生以上

募集人数 6名(先着順)

申込 2月15日(火)から
中央図書館カウンター、電話で受付。
氏名・電話番号をお知らせ下さい。

問合せ 中央図書館 ☎042-378-7111